

これからの君へ

ひもどく

学校がつらい時は

児童文学評論家・翻訳家

清水 真砂子

ベグル・チームの作戦
E・L・カニグズバーグ
〈著〉

松永ふみ子訳
岩波少年文庫
691円



きみは知らないほうがいい

岩瀬 成子〈作〉
長谷川 集平〈絵〉

文研出版
1512円



おいほれミック
パリ・ライ〈著〉

岡本さゆり訳
あすなろ書房
1296円



提示してよとしたスローガンを

そのまま信じて、自分自身、す
でに加害者にもなりつつあるの
だった。

新しい出発促す

今、学校への足が重い人、い
じめにおびえている人にぜひ、
と薦めたいのは『きみは知らない
ほうがいい』である。主人公

は複数のいじめの矢が常時とび
かう教室に、誰とも距離をとり
ながら、ひとり黙って座ってい
る十二歳の少女。

物語はこの少女が同級生の男
の子と偶然バスに乗り合わせた
ことから大きく動きだすのだ
が、作者は登場人物を単純に善
悪に分けることはしていない
し、社会の現実を書く時にも、無
責任に一方にのみ加担する愚は

知るより感じる

犯してはいない。が、私がこの
本をとりあげたのは、常態化さ
れたいじめを描きながら、子ど
もたちに新しい出発への決意を
促しているからで、しかもそれ
は可能だと確信できたからだ。

私が十代の終わりを生きる学
生たちと付き合ってきた、驚い
たことは他にもある。例えば個
性／＼と騒ぐわりには、みんな

似たような恰好をしたり、自分
が心から歩みたいと思う道を進
むようにいうと、「それってわ
がままじゃないんですか」と驚
いて聞き返してきたり。

そこである年新入生のゼミで
『増補 オヤジ国憲法でいこう
！』（しりあがり寿・祖父江慎著、
イースト・プレス・1296
円）を読むことにした。装丁に

驚いた学生たちだったが、第1
条「個性ハ必要ナシ」に始まる
楽しくも過激な言葉で自分たち

の思い込みを次々壊されて、彼
女たちの表情は少しずつつき
りしたものになっていった。
ところで、今年五月、イング
ランド1部リーグの優勝が大方
の予想を裏切ってレスターのチ
ームだったことは、サッカーフ
アンだったら誰だって知ってい
るに違いない。この時のTV画
面には私も仕事の手を止めて見
入った。ただし、後方の観客席
を。レスターに生まれ育ったイ
ンド系移民二世が『おいほれミ
ック』に書いていたことは本当
だった。観客席には白いターバ
ンの人が多数見えた。

レスターはインドからのシク
教徒の移民の多い町だという。
そこには作品にあるように人種
対立も起こりうる。が、この五
月、ロンドンには初のムスリム
の市長が誕生した。四〇代。パ
キスタンからの移民二世だ。私
はここに歴史の新しい息吹を感
じている。

閉じられたLINEの世界で
ばかり群れていないで、顔をあ
げて、周囲を見てみよう。吹く
風をあなた自身の肌にかけてみ
よう。月の光を全身に浴びたこ
と、ある？ レイチェル・カー
ソンは『センス・オブ・ワンダ
ー』（上遠恵子訳、新潮社・1
512円）の中で言っている。
『知る』ことは『感じる』こと
の半分も重要ではないと固く信
じています」と。

◇しみず・まさこ 41年生ま
れ。青山学院女子短大名誉教
授。翻訳に『ゲド戦記』など。

ひとりでいる時に、人は育つ



月光がさす棚田 1999年、新潟県十日町市、吉田耕一郎撮影。
『世界中の子どもに、生涯消えることのない「センス・オブ・ワン
ダー」神秘さや不思議さに目を見る感性』を（カーソン）

この春、『未来の担い手』
を育てる本校の生徒は……」で
始まる、ある中学校長の全校生
徒に向けてのメッセージ文に出
合った。そこには「笑顔が基本、
みんな仲良し」とあり、「本校
には『いじめ』はない。あるの
は、『絆』だけ」と記されてい
た。「うっそう」とつぶやく
人。「そのとおり」とうなずく
人。心配なのは後者の人たちだ。
私はそういう人たちが問うこ
とから遠ざかり、大学生になっ
てもなお独り居はだめ人間のす
ること、と思ひ込み、いつも笑
顔でいなくてはと痛ましい努力
を続けるのを三十数年、見続け
てきた。いわゆる「勉強」ので
きない学生たちではなかった。
「未来の担い手」と期待されて
いる人たちでもあったろう。
が、その人たちは、成長の大
部分は「ひとりでいる時に起こ
る」というE・L・カニグズバ
ーグの言葉（『ベグル・チー
ムの作戦』）も知らず、学校が